

昭和63年秋季年会

講演予稿集

於 石川県教育会館

昭和63年10月11日(火)~13日(木)

日本天文学会

日本天文学会 1988年 秋季年会

プログラム

月 日 昭和63年10月11日(火)~13日(木)

場 所 石川県教育会館 〒920 金沢市香林坊 1-2-40

電話 (0762-22-1241)

		午前				午後				講演 番号	
月 日	会場	9時	10	11	12	1	2	3	4		5
10月11日 (火)	A	恒星(I)			臨時 評議 員会	恒 星 (II)				A 1-42	
	B	宇 宙 論		その他		位置天文学	天体力学	太 陽 系	特 別 講演会	B 1-42	
10月12日 (水)	A	恒星(III)			内地留学 奨学 金選考 委員会 写真	太 陽		臨時 総会	懇 親 会	A 43-81	
	B	星間現象(I)				星間現象(II)				B 43-82	
10月13日 (木)	A	星間 現象 (III)	観測機器・ 情報処理(I)		ボ ス タ ー セ ッ シ ョ ン	理 事 会		観測機器・情報処理(II)		A 82-120	
	B	高エ ネル ギー 天文 学	我々の 銀河系	銀河・ 銀河団 (I)		銀河・銀河団(II)		B 83-125			

A会場: 3階大ホール, B会場: 2階大会議室

計 245

- 講演割当時間は7分です。
- ポスターセッション用に2階ロビーを用意しました。このセッションへ割当てられた講演数は14で、該当する方へは案内書を送りました。なお第3日午前11時30分からポスターセッション用時間帯を設けましたので講演者は待機して下さい。
- Post dead-line paper 用に第3日午後通常講演終了後のA会場を確保しました。
- スライドは透視した時に正しい上下関係になるようにして、その手前側上方に講演番号と氏名、映写順序番号を書き、下縁に5mm位の赤線をつけて下さい。ビラは用いず、スライドまたはオーバーヘッドプロジェクターをご利用下さい。
- 第1日の年会講演終了後、Dr. H. U. Keller氏(Max-Planck-Institut für Aeronomie, Katlenburg-Lindau, 西独)の特別講演“The Halley's nucleus seen from the GIOTTO Multicolor Camera”があります。
- 年会開催前日の10月10日(月)午後6時30分から公開講演会「パーシバル・ローエルと能登」が開かれます。(関連記事は8月号参照)
- 会場案内は月報8月号(222頁)あるいは年会予稿集プログラム巻末を参照して下さい。

◎ 日本天文学会臨時総会開催の公示

日本天文学会定款第39条の規定により臨時総会を招集する。

開催日時: 昭和63年10月12日

秋季年会第2日講演終了後

開催場所: 金沢市香林坊 石川県教育会館3階大ホール(秋季年会A会場)

開催目的: 日本天文学会定款の改訂

改訂内容:

- 東京天文台の国立天文台等への改組に伴う本会事務所を規定する条項の変更
- 民法の規定に基づく監事の新設に伴う条項の変更

昭和63年8月27日

日本天文学会理事長

高窪啓弥

会場 A (3階大ホール)

第1日 10月11日(火) 午前9時15分より 会場 A

- A 1 ガンマ線バーストの発生天体: 村上敏夫, 西村 純 (宇宙研), ガンマ線班
A 2 X線天文衛星「ぎんが」でみた Rapid Burster: 堂谷忠靖, 満田和久(宇宙研), W. Penninx(アムステル大) 他
A 3 H0538+608 の光・X線同時観測: 田代 信, 石田 学, 大橋隆哉 (東大理), A. Silber, H. Bradt, R. Remillard (MIT)
A 4 接触型食連星 VW Cep のX線観測: 三原建弘, 鶴 剛, 牧島一夫, 大橋隆哉 (東大理), M. Barstow, J. Pye, I. McHardy (レスター大)
A 5 トランジェントX線源 Cep X-4 からのX線パルスの発見: 川田光伸, 田原 譲 (名大理), 木村和宏 (阪大理) 他「ぎんが」チーム
A 6 X線パルサー X1722-36 の観測: 竹内有一, 田原 譲, 山内茂雄, 小山勝二 (名大理), R. S. Warwick (Leicester Univ.)
A 7 GX 301-2 のX線パルス位相による放射特性: 松岡 勝, 河合誠之 (理研), D. A. Leahy (理研, カルガリー大)
A 8 X線パルサー 4U1538-52 のサイクロトロン吸収線: 長瀬文昭 (宇宙研), 牧島一夫, 坂尾太郎 (東大理), G. Clark, J. Woo (MIT)

休 憩

- A 9 X線新星 ASM 2000+25 の「ぎんが」による観測: 常深 博, 北本俊二 (阪大理), 他「ぎんが」チーム
A10 「ぎんが」LAC によるX線新星 2000+25 の観測: 井上 一, 滝沢 守, 田中靖郎 (宇宙研), 他「ぎんが」チーム
A11 X線パルス成分への重力レンズの影響: 朝岡育子 (名大理), 蓬茨霊運 (立教大理)
A12 磁場を持つ中性子星へのアクリーション: 広谷幸一, 花輪知幸 (名大理)
A13 低質量X線連星の降着円盤からのX線: 花輪知幸 (名大理)
A14 降着円盤と中性子星表面との間の境界層: 蓬茨霊運 (立教大理), 朝岡育子 (名大理)
A15 「ぎんが」による SN 1987A のX線の観測: 田中靖郎, 井上 一, 村田 清, 近藤秀治 (宇宙研), 「ぎんが」チーム
A16 超新星からの Diffuse ν の観測: 平田慶子, 他 (KAMIOKANDE-II Collaboration)
A17 超新星 1987A からのX線・ γ 線に対する物質の混合の効果: 熊谷紫麻見¹, 伊藤貞之², 茂山俊和¹, 野本憲一¹, 西村 純³ (¹東大教養, ²名大理, ³宇宙研)

第1日 10月11日(火) 午後1時より 会場 A

- A18 SN 1987A の Progenitor の進化と LMC の超巨星の色分布: 山岡 均, 斎尾英行 (東大理), 野本憲一 (東大教養)
A19 超新星爆発直前の大質量星の構造: 野本憲一 (東大教養), 橋本正章 (パリ天体物理研究所)
A20 超新星 1987A の光度曲線: モデルの改良と今後の予測: 茂山俊和, 熊谷紫麻見, 野本憲一 (東大教養)
A21 Ia 型超新星の親星はなにか?: 蜂巢 泉 (京大工), 加藤万里子 (慶応大), 斎尾英行 (東大理)
A22 超新星爆発と中性子星の重力崩壊に対する高密度物質の相転移の潜熱の効果: 高原まり子 (東工大理), 佐藤勝彦 (東大理)
A23 超新星爆発直後における中性子星への物質の非球対称な降着: 山田章一, 佐藤勝彦 (東大理)
A24 The Stability of the Density Profile in Supernova Explosions (II): 田 光江 (京大教養), 中村卓史, 山田良透 (京大理)
A25 原始中性子星のニュートリノ放出 II: 鈴木英之, 佐藤勝彦 (東大理)
A26 連星中性子星系の合体と重力波: 中村卓史 (京大理), 大原謙一 (高エネ研)
A27 爆縮寸前にある星の Core の非軸対称構造: 立松芳典, 藤本光昭 (名大理)
A28 ヘリウム型新星のさいの質量放出: 加藤万里子 (慶応大), 斎尾英行 (東大理), 蜂巢 泉 (京大工)
A29 非一様エントロピー分布を持つ差動回転シリンダーの不安定性: 観山正見, 小嶋康史, 窪谷浩人 (京大理)
A30 “力なし”ブラックホール磁気圏 III: 岡本 功 (国立天文台水沢)

休 憩

会場 B (2階大会議室)

第1日 10月11日(火) 午前9時15分より 会場 B

- B 1 銀河の重力的集団化: 熱力学的理論と数値計算との比較-III: 伊藤 誠, 稲垣省五 (京大理), W. C. Saslaw (ヴァージニア大)
- B 2 宇宙論的 N 体計算における境界条件: 須藤 靖 (茨城大理)
- B 3 Collision of Cosmological Shock Waves: 吉岡 諭 (国立天文台, 東大理), 池内 了 (国立天文台)
- B 4 Column Density Distribution of the Lyman α Forest: 村上 泉 (東大理), 池内 了 (国立天文台), M. J. Rees (IOA, UK)
- B 5 バリオン収縮に伴う暗黒物質分布の変化: 伊沢瑞夫, 佐藤勝彦 (東大理)
- B 6 3K 背景放射の等方性によるバリオン密度の制限: 梅村雅之, 福来正孝 (京大基研)
- B 7 球対称な膨張宇宙での密度ゆらぎの非線形成長とカタストロフィー理論: 郷田直輝 (京大理)
- B 8 ダーク・マターを含む宇宙モデルのゲージ不変な密度ゆらぎの発展: 杉山 直, 富田憲二, 佐々木節 (広大理論研), 郷田直輝 (京大理)

休 憩

- B 9 de Sitter 時空におけるソリトンの摂動と cosmic no hair conjecture: 前田恵一 (東大理), 肥川隆夫 (都立大理)
- B 10 インフレーション宇宙における非一様時空の進化: 北田雄一, 前田恵一, 佐藤勝彦 (東大理)
- B 11 非等方宇宙におけるインフレーションの量子宇宙論的一般性: 横山順一, 前田恵一 (東大理)
- B 12 QCD 相転移による等温密度揺らぎの生成と宇宙初期の元素合成: 寺沢信雄 (東大理, 国立天文台), 佐藤勝彦 (東大理)
- B 13 宇宙初期における r-process 元素合成について: 佐藤勝彦 (東大理), 寺沢信雄 (東大理, 国立天文台)
- B 14 宇宙の多重発生: 森川雅博 (京大理), 細谷暁夫 (広大理論研)
- B 15 高次元宇宙と Dirac's LNH: 福井尚生 (獨協大教養)
- B 16 日本の夜空の明かるさ: 香西洋樹 (国立天文台)

第1日 10月11日(火) 午後1時より 会場 B

- B 17 水沢アストロラープ星の位置改良: 酒井 俐, 真鍋盛二 (国立天文台水沢)
- B 18 観測カタログの大域的整約法 II: 鈴木駿策, 吉澤正則 (国立天文台)
- B 19 小惑星の位置観測値による基本座標系の検討: 新美幸夫 (国立天文台)
- B 20 小惑星観測による基本座標系と力学座標系との結合: 宮本昌典, 相馬 充 (国立天文台)
- B 21 地球・大気系の角運動量収支 (1): 菊地直吉, 内藤勲夫 (国立天文台)
- B 22 地球・大気系の角運動量収支 (2): 内藤勲夫, 菊地直吉 (国立天文台)
- B 23 年周励起極運動の回る向き: 若生康二郎, 石川利昭 (国立天文台)
- B 24 衛星レーザー測距から求めた地球回転と測地パラメーター: 佐々木 稔 (水路部)
- B 25 鹿島-JPL 局 VLBI 実験から得られた JPL 局位置と電波源位置: 浜 真一, 高橋幸雄 (通信総研鹿島)
- B 26 IRIS-P VLBI 局の位置: 真鍋盛二, 横山紘一 (国立天文台水沢), 吉野泰造, 川口則幸 (通信総研)
- B 27 VLBI 観測による歳差・章動の解析: 横山紘一 (国立天文台水沢)
- B 28 小惑星の運動におけるレゾナンスサーベイ II: 吉川 真 (国立天文台, 東大理)
- B 29 第7, 第8 土星衛星の軌道要素改良: 畑中至純 (国立天文台)

休 憩

会場 A (3階大ホール)

- A31 パルサー磁気圏の閉じた電流系はいかにして形成されるか?: 柴田晋平 (山形大理)
- A32 パルサー磁気モーメントの減衰: 佐藤尚宏, 足立朋生, 伊藤直紀 (上智大理工)
- A33 等循環流の安定性: 稲垣省五 (京大理), J. Katz (ヘブライ大学)
- A34 トーラスからの風: 福江 純, 岡田理佳 (大阪教育大)
- A35 MHD トーラスの軸対称振動: 岡田理佳, 福江 純 (大阪教育大), 松元亮治 (京大理)
- A36 近接連星系の降着円盤の数値実験: 広瀬雅人, 尾崎洋二 (東大理)
- A37 降着円盤の潮汐不安定性: 尾崎洋二, 広瀬雅人 (東大理)
- A38 磁気浮力不安定による恒星内部の物質混合: 中山薫二, 加藤正二, 松元亮治, 竹内彰継 (京大理)
- A39 磁気浮力不安定性に対する3次元効果: 松元亮治 (京大理), 柴田一成 (愛知教育大, テキサス大)
- A40 星風解と特異点 II. 解の挙動: 斎藤泰通 (岩手大教育)
- A41 原始惑星系塵雲からの熱輻射: 中野武宣 (京大理)
- A42 サンペドロマルティル天文台における天体スペckル観測 II: 野口本和, 磯部秀三, 飯塚吉三 (国立天文台), 大坪順次 (静岡大工), 馬場直志 (北大工), 谷中清司 (中央大理工)

第2日 10月12日(水) 午前9時より 会場 A

- A43 周期倍化分岐を示すある非線形振動子の性質: 岡崎和久, 竹内 峯 (東北大理), 田中靖夫 (茨城大教育)
- A44 恒星の一層模型の非線形動径方向振動: 齊藤昌也¹, 田中靖夫², 竹内 峯¹ (¹東北大理, ²茨城大教育)
- A45 脈動星の非線形二モード結合とカオス: 田中靖夫, 瀬谷啓二 (茨城大教育), 竹内 峯 (東北大理)
- A46 セファイド模型における擬似対流の効果: 石田俊人, 竹内 峯 (東北大理)
- A47 The Cause of the Period-doubling Cascade in Stellar Pulsation: 相川利樹 (東北学院大)
- A48 低周波非動径振動の作る線輪郭変化: 李 宇珉, 斉尾英行 (東大理)
- A49 Be 星 ζ Oph の quiescence における線輪郭変化の周期性: 神戸栄治 (東大理), 安藤裕康 (国立天文台), 平田龍幸 (京大理)
- A50 Be 星と shell 星との相互変動について分光学的考察: 小暮智一 (京大理)
- A51 Be 型星プレオネの視線速度周期解析: 平田龍幸 (京大理), 片平順一 (堺市科教研)

休 憩

- A52 PU Vul の分光観測: 金光 理 (福岡教育大)
- A53 短周期連星 DQ Her の質量について: 鈴木雅一 (金沢工大)
- A54 早期型接触連星系 AW Lac の分光観測: 中村泰久 (福島大教育), 岡崎 彰 (津田塾大), 片平順一 (堺市科教研)
- A55 Photospheres as Boundaries of Stellar Interiors: M. Scholz (ハイデルベルグ大, 東大理天文センター)
- A56 赤色巨星における CNO 組成の定量解析 II. 赤外 CO スペクトルにおける非均質大気構造の効果: 辻 隆 (東大理天文センター)
- A57 Nonspherical Radial Flow Model of Dust Molecular Shells: 海野和二郎, 小山晃一 (近大), 辻 隆, 泉浦秀行 (東大理天文センター)
- A58 Dust Shell around M Miras III. Mantle Growth Model: 尾中 敬 (東大理)
- A59 炭素星のダストエンベロープと質量放出: 橋本 修, 中田好一, 上條文夫 (東大理)

会場 B (2階大会議室)

- B30 天王星の衛星におよぼす太陽の影響: 中井 宏, 木下 宙 (国立天文台)
B31 Reconstruction of Nutation Series of the Rigid Earth by the Use of New Ephemeris: J. Souchay, 木下宙 (国立天文台)
B32 ジーゲルの方法による視差不等: 渡辺憲昭 (千葉商大)
B33 ケプラー運動の平均値: 堀 源一郎 (東大理)
B34 Multifrequency beam Structure of Jupiter's Decametric Radiation: 前田耕一郎 (兵庫医大), T. D. Carr (フロリダ大)
B35 帯縞の混合による木星大赤斑雲の位相関数: 佐藤毅彦¹, 赤羽徳英², 川端 潔¹ (¹東京理科大, ²飛騨天文台)
B36 レーレー有限大気散乱行列について: 上野季夫 (京都コンピュータ学院)
B37 シュワスマン・ワハマン1彗星の CCD 観測: 中村 士, 渡部潤一, 川上 肇, 木下 宙, 乗本祐慈 (国立天文台)
B38 ブラッドフィールド彗星の偏光観測: 菊池 仙, 三上良孝 (国立天文台), 向井 正, 向井苑生 (金沢工大)
B39 Rough Surface モデルを用いた彗星核反射能の計算: 向井苑生, 向井 正 (金沢工大)
B40 長周期彗星から供給される塵の量: 向井 正 (金沢工大)
B41 彗星核の自転——ハレー彗星の場合: 渡部潤一 (国立天文台)
B42 流星軌道要素の分散: 長沢 工 (東大地震研)

第2日 10月12日(水) 午前9時より 会場 B

- B43 Herbig Ae 星 LkH α 234 周辺の分子雲: 仲野 誠 (大分大教育), 立松健一 (名大理), 小暮智一, 吉田重臣, 能丸淳一 (京大理)
B44 Herbig Be/Ae 星周辺の分子観測: 能丸淳一, 小暮智一, 吉田重臣 (京大理), 仲野 誠 (大分大教育), 立松健一 (名大理)
B45 MWC 1080 の分子線観測: 吉田重臣, 能丸淳一, 小暮智一 (京大理), 立松健一 (名大理), 仲野 誠 (大分大教育)
B46 Cepheus ¹³CO コアに付随した IRAS 点源の分子流探査——低温, 高光度 IRAS 点源で 100% の検出率——: 水野 亮¹, 岩田隆浩¹, 大橋永芳¹, 杉谷光司², 福井康雄¹ (¹名大理, ²名古屋大教養)
B47 S159 分子雲の微細構造: 亀谷 収, 浮田信治 (国立天文台野辺山)
B48 Orion-KL 領域のミリ波干渉計による CS ($J=1-0$) 観測: 村田泰宏¹, 川辺良平, 石黒正人, 森田耕一郎, 春日隆, 近田義広, 神沢富雄, 半田一幸, 岩下浩幸, 高橋敏一, 小林秀行, 奥村幸子¹, 石附澄夫¹ (国立天文台野辺山, 東大理)
B49 L1221 双極分子流と分子雲の相互作用: 梅本智文¹, 平野尚美², 亀谷 収², 久野成夫¹, 高窪啓弥¹ (¹東北大理, ²国立天文台野辺山)
B50 S255, S257 と星形成領域の相互作用: 平野尚美, 亀谷 収 (国立天文台野辺山), 梅本智文, 久野成夫, 高窪啓弥 (東北大理)
B51 W49A 高密度コアの構造 II: 宮脇亮介¹, 林 正彦², 長谷川哲夫^{2,3} (¹福岡教育大, ²東大理, ³国立天文台野辺山)

休 憩

- B52 W3 コア領域の高分解能広域マッピング観測: 小林秀行¹, 林 正彦², 長谷川哲夫³, 石黒正人¹ (¹国立天文台野辺山, ²東大理, ³東大理天文センター)
B53 W30H コア領域の構造: 面高俊宏 (鹿児島大教養), 仲野 誠 (大分大教育), 林 正彦 (東大理), 海部宣男, 長谷川哲夫 (国立天文台野辺山)
B54 NGC 2071 のディスクの CS 輝線 ($J=7-6, 2-1, 1-0$) 観測: 山下卓也, 長谷川哲夫, 海部宣男, 亀谷 収, 浮田信治 (国立天文台野辺山), 林左絵子 (JAC), 面高俊宏 (鹿児島大)
B55 S287 巨大分子雲の活動的な星生成: 岩田隆浩, 水野 亮, 福井康雄 (名大理)
B56 プロトスターディスクの観測的証拠——L1641 における近赤外データの解析——大橋永芳, 福井康雄 (名大理)
B57 原始星ガス円盤の物理特性——CS 観測: 海部宣男¹, 山下卓也¹, 長谷川哲夫², 亀谷 収¹, 林 正彦², 砂田和良³, 林左絵子³, 面高俊宏⁴ (¹国立天文台野辺山, ²東大理, ³JAC, ⁴鹿児島大教養)

会場 A (3階大ホール)

A60 特異炭素星の探索: 野口邦男 (名大理)

第2日 10月12日(水) 午後1時より 会場 A

- A61 CCD カメラによるヘリオグラフの開発: 花岡庸一郎 (京大理天文台)
- A62 2本の吸収線を用いた太陽磁場の微細構造の観測: 桜井 隆 (国立天文台), 熊谷紫麻見 (東大理)
- A63 Seasonal Variation of Velocity Field Fluctuation in the Solar Photosphere: Li Wei (北京天文台), 牧田 貢 (京大理花山)
- A64 活動領域における line intensity と continuum intensity の比について: 川上新吾 (大阪市立電気科学館)
- A65 静穏紅炎における $Ly\alpha$ と LyC の強度比 (IV): 當村一朗 (大阪府立工業高専)
- A66 プロミネンスを形成するプラズマの影: 高橋典嗣 (明星大), 山口正博 (工学院大)
- A67 プロミネンスの崩壊現象 (II): 川口市郎 (大阪学院短大)
- A68 Oscillatory Radiative Cooling During Prominence Formation in the Current Sheet: R. B. Fakeh, L. E. Perez, J. Sakai (富山大)
- A69 $H\alpha$ フレアポイントのプロファイルについて: 北原達正, 黒河宏企 (京大理天文台)
- A70 $H\alpha$ フレアの形態分類について: 黒河宏企 (京大理天文台)

休 憩

- A71 大フレアに伴った高速衝撃波: 中島 弘, 川島 進, 篠原徳之, 舘目信三 (国立天文台野辺山)
- A72 太陽フレアの磁気ループ構造と電子の加速・捕捉: 甲斐敬造 (国立天文台)
- A73 X12 フレア初期のプラズマ運動 (II): 渡辺鉄哉 (国立天文台)
- A74 太陽フレアの主成分解析: 柴崎清登 (国立天文台), I. E. Pogodin (レニングラード大)
- A75 太陽フレア硬X線の“熱的解釈”の検討: 小杉健郎 (東大理天文センター)
- A76 イオン音波乱流状態における電子の直流電場加速: 高倉達雄
- A77 太陽振動の逆問題の漸近的解法——密度分布: 柴橋博資, 関井 隆 (東大理)
- A78 太陽の内部回転則の線型逆問題: 関井 隆, 柴橋博資 (東大理)
- A79 コロナルホールの発生と微分回転: 鈴木美好 (川越高校), 久保田 諄 (花山天文台)
- A80 太陽磁気圏 22 年周期変化に関する 3 双極子モデル: 斎藤尚生, 大木俊夫 (東北大理)
- A81 太陽磁気圏自転周期の太陽活動サイクル変化: 大木俊夫, 斎藤尚生 (東北大理)

会場 B (2階大会議室)

- B58 原始星を取り巻く分子ディスクの HC₃N 観測 II. (ORI-KL): 鄭 玄洙, 林 正彦 (東大理), 大石雅寿 (富山大), 亀谷 収, 森本雅樹 (国立天文台野辺山)
- B59 回転している磁気雲の平衡解: 富阪幸治 (新潟大教育), 池内 了 (国立天文台), 中村卓史 (京大理)
- B60 磁気ピンチでトリガーされた自己重力収縮: 羽部朝男 (北大理), 内田 豊 (東大理), 池内 了 (国立天文台)

第2日 10月12日 (水) 午後1時より 会場 B

- B61 CH₃OH の第二振動励起状態の発見: 大石雅寿 (富山大), 海部宣男, 石川晋一 (国立天文台野辺山), 齋藤修二, 山本 智, 高野秀路 (名大理), 川口建太郎 (分子研)
- B62 CH₃OH の振動準位間遷移を含む遷移モーメントの計算: 林 雅夫, 高木光司郎, 大石雅寿 (富山大理)
- B63 IRC+10216 における振動励起分子. C₂H: 山本 智, 齋藤修二, 高野秀路 (名大理), 鈴木博子, 出口修至, 海部宣男, 石川晋一 (国立天文台野辺山), 大石雅寿 (富山大理)
- B64 C₇H ラジカルの探査とその星間化学: 齋藤修二, 山本 智 (名大理), 川口建太郎 (分子研), 鈴木博子 (国立天文台野辺山), 大石雅寿 (富山大理), 石川晋一, 海部宣男 (国立天文台野辺山)
- B65 HC₃N の ¹³C 同位体種の観測——TMC1 での場所による炭素同位体比の変化と ¹³C の化学的同位体分別: 高野秀路 (東大理, 名大理), 鈴木博子, 石川晋一, 海部宣男 (国立天文台野辺山), 大石雅寿 (富山大理), 平原靖大, 増田彰正 (東大理)
- B66 C₂ 分子の赤外レーザー分光: 川口建太郎, 広田栄治 (分子研), 松村敬治 (西南大), 金森英人 (東大教養)
- B67 1100 μm と 450 μm での W51, W49A の高分解能イメージ: 林 正彦, 長谷川哲夫 (東大理), 林左絵子 (JAC), 宮脇亮介 (福岡教育大), G, White (QMC, ロンドン大)
- B68 H II 領域の微細構造 (ラジオスペクトル) (I): 赤羽賢司¹, 祖父江義明², 平林 久³, 井上 允³, 森本雅樹³ (¹富大理, ²東大理, ³国立天文台野辺山)
- B69 NGC 2024 の赤外線観測: 舞原俊憲, 水谷耕平, 周藤浩士 (京大理)
- B70 星間塵熱放射成分のロケット観測: 佐藤紳司, 早川幸男, 松本敏雄, 松尾 宏, 村上 浩 (名大理), A. E. Lange, P. L. Richards (カリフォルニア大 Berkeley)
- B71 3.1 μm Ice Band Feature I——Young Objects: 佐藤修二 (国立天文台), 田中培生 (東大理天文センター), 長田哲也 (京大理)

休 憩

- B72 3.1 μm Ice Band Feature II——ρ Oph Region: 田中培生 (東大理天文センター), 佐藤修二 (国立天文台), 長田哲也 (京大理)
- B73 赤外線カメラによる原始星の探査: 市川 隆, 西田 稔 (京大理)
- B74 波長 3.8 μm での星間偏光の観測: 長田哲也 (京大理)
- B75 有機物星間塵の生成と変成: 小笹隆司 (京大理), 山本哲生 (宇宙研)
- B76 巨大分子雲に隣接する超新星残骸 HB 21: 立松健一, 福井康雄 (名大理)
- B77 超新星残骸と cloud の相互作用: 吉田龍生 (北大理), 花見仁史 (テキサス大)
- B78 カニ星雲型 SNR, G 21.5-0.9 の 22 GHz 干渉計観測: 祖父江義明, E. Furst, 半田利弘, 森田耕一郎, P. Reich, W. Reich (東大理, 国立天文台野辺山)
- B79 銀河中心部の遠赤外分光観測: 奥田治之, 芝井 広, 中川貴雄, 松原英雄 (宇宙研), 舞原俊憲, 水谷耕平 (京大理), F. J. Low, 西村徹郎 (アリゾナ大), 小林行泰, 高見英樹 (国立天文台), 広本宣久 (通信総研)
- B80 NGC 6334 の気球遠赤外線分光観測: 中川貴雄 (東大理), 奥田治之, 芝井 広, 松原英雄 (宇宙研), 舞原俊憲, 水谷耕平 (京大理), F. J. Low, 西村徹郎 (アリゾナ大), 小林行泰 (東大理天文センター), 高見英樹 (国立天文台), 広本宣久 (通信総研)
- B81 M17 の [C II] 掃天観測: 松原英雄 (京大理), 奥田治之, 芝井 広, 中川貴雄 (宇宙研), 舞原俊憲, 水谷耕平 (京大理), F. J. Low, 西村徹郎 (アリゾナ大), 小林行泰 (東大理天文センター), 高見英樹 (国立天文台), 広本宣久 (通信総研)
- B82 気球遠赤外線観測による広がった C II 領域の発見: 芝井 広, 奥田治之, 中川貴雄, 松原英雄 (宇宙研), 舞原俊憲, 水谷耕平 (京大理), F. J. Low, 西村徹郎 (アリゾナ大), 小林行泰 (東大理天文センター), 高見英樹 (国立天文台), 広本宣久 (通信総研)

会場 A (3階大ホール)

第3日 10月13日(木) 午前9時より 会場 A

- A82 TMC-1 の CCS によるマッピング観測: 平原靖大, 増田彰正 (東大理), 山本 智, 高野秀路 (名大理), 大石雅寿 (富山大理), 鈴木博子, 石川晋一, 海部宣男 (国立天文台野辺山)
- A83 DC offset free A/D 変換器による固定パターンの除去: 遊馬邦之, 大師堂経明 (早大教育理工), 西堀一彦, 井上修一郎, 矢野素子, 小原啓義, 小松進一 (早大理工), 岩瀬清一郎 (ソニー)
- A84 70-500 MHz 帯太陽電波スペクトル計 (I)——アンテナ及び受信装置——: 磯崎 進¹, 亘 慎一¹, 大部弘次¹, 磯辺 武² (¹通信総研平磯, ²通信総研犬吠)
- A85 70-500 MHz 帯太陽電波スペクトル計 (II)——観測制御・データ集録装置及び解析装置——: 亘 慎一, 磯崎進, 富田二三彦 (通信総研平磯)
- A86 新4メートル短ミリ波望遠鏡 I——意義: 福井康雄, 小川英夫, 河鱒公昭, 藤本光昭 (名大理)
- A87 新4メートル短ミリ波望遠鏡 II——設計: 小川英夫, 福井康雄, 河鱒公昭, 藤本光昭 (名大理)
- A88 100 GHz 帯周波数通倍器の開発: 木村和幸, 水野 亮, 小川英夫, 石川秀蔵, 福井康雄 (名大理)
- A89 4メートル短ミリ波望遠鏡新計算機システム: 河鱒公昭, 福井康雄, 小川英夫, 野澤悟徳, 大橋永芳 (名大理)
- A90 新計算機による名大4m鏡バックエンドシステム: 野澤悟徳, 小川英夫, 福井康雄, 河鱒公昭 (名大理), 杉谷光司 (名古屋市大)
- A91 野辺山45m鏡の新マスターコリメーターの角度検出器の性能: 浮田信治, 北村良実, 山下卓也, 半田利弘, 宮沢和彦, 亀谷 収 (国立天文台野辺山)
- A92 光学望遠鏡による45m鏡の新・旧マスターコリメーターの精度の検定: 泉浦秀行, 田中培生 (東大理), 石川晋一, 宮地竹史, 海部宣男 (国立天文台野辺山)
- A93 野辺山ミリ波干渉計のベースライン誤差について: 森田耕一郎, 小林秀行, 石黒正人 (国立天文台野辺山)
- A94 野辺山ミリ波干渉計のポインティング測定: 半田一幸, 高橋敏一, 神沢富雄, 森田耕一郎, 近田義広 (国立天文台野辺山)
- A95 電波天文観測用周波数選択膜 (FSS) の開発 2——40/80 GHz 帯 FSS の試作——: 入交芳久 (名大空電研), 鷹野敏明 (国立天文台豊川), 徳丸宗利 (通信総研)
- A96 高周波域 (15 GHz) でのパルサーの試験観測: 宮地竹史, 平林 久, 御子柴 廣 (国立天文台野辺山), 小島正宣, 丸山一夫, 石田善雄 (名大空電研), 藤本真克, 松田 浩 (国立天文台), 三好 真 (東大理), 待鳥誠範 (東大工)
- A97 NRO 45 m 鏡における近ミリ波帯観測: 松尾 宏, 秋葉 誠, 佐藤紳司, 野田 学, 松本敏雄, 村上浩 (名大理), 井上 允, 浮田信治 (国立天文台野辺山), 田中培生 (東大理天文センター)
- A98 60 cm サブミリ波望遠鏡の製作: 長谷川哲夫, 林 正彦, 砂田和良 (東大理), 海部宣男 (国立天文台)
- A99 水素レーザーの近傍雑音退治——ミリ波 VLBI の S/N 改善に向けて: 武井健寿, 仰木一孝 (日本通信機), 森本雅樹, 宮地竹史, 平林 久 (国立天文台野辺山)

第3日 10月13日(木) 午後1時より 会場 A

- A100 FX と VAN VLECK 補正: 近田義広, 神沢富雄, 半田一幸 (国立天文台野辺山), 奥村幸子 (東大理)
- A101 短ミリ波偏波計の製作: 加藤龍司¹, 井上 允², 田原博人¹, 坪井昌人², 森本雅樹², 御子柴 廣², 宮澤敬輔² (¹宇都宮大教育, ²国立天文台野辺山)
- A102 Rotation Measure の決め方: 会津 晃, 井上 允 (国立天文台野辺山), 田原博人, 加藤龍司 (宇都宮大)
- A103 連続波データリダクションシステム CONDUCT: 半田利弘 (国立天文台野辺山)
- A104 知識ベースを用いた高速主鏡支持制御: 渡辺正明, 中村 健, 上石陽一 (アドイン研究所), 山下泰正 (国立天文台)
- A105 2 cm, 13 cm 波 TDRS 衛星スペース VLBI の結果: 平林 久, 森本雅樹, 井上 允, 宮地竹史, 御子柴廣 (国立天文台野辺山), 西村敏充, 山田隆弘 (宇宙研), G. Levy, R. Linfield (NASA ジェット推進研究所), D. Jauncey (CSIRO), 他
- A106 3 mm 波 Global VLBI 観測の成功: 井上 允, 平林 久, 森本雅樹, 宮地竹史, 御子柴 廣 (国立天文台野辺山)
- A107 通信総合研究所鹿島支所の新34mアンテナ: 高羽 浩, 川口則幸, 木内 等, 高橋幸雄 (通信総研鹿島), 栗原則幸 (通信総研)

会場 B (2階大会議室)

第3日 10月13日(木) 午前9時より 会場 B

- B83 X線連星 4U1820-30 の中性子星: 宮路茂樹 (千葉大教養)
- B84 SN 1987A からのX線, γ 線と ejecta の非一様性: 山田良透, 中村卓史 (京大理), 笠原克昌 (宇宙線研)
- B85 降積衝撃波による粒子加速: 高原文郎 (都立大理)
- B86 二温度降着円盤からの放射スペクトル: 楠瀬正昭 (東大理), 高原文郎 (都立大理)
- B87 3-D Initial Data of Colliding Neutron Stars: 大原謙一 (高エネ研), 中村卓史 (京大理)
- B88 磁気流体波による運動量輸送: 横沢正芳 (茨大理)
- B89 オリオン座の微光輝線星の分光観測 I. Ib 領域: 小倉勝男 (国学院大), 小暮智一, 吉田重臣 (京大理), 仲野 誠 (大分大)
- B90 W51 での CS ($J=1-0$) 線干渉計高分解能観測: 春日 隆, 石黒正人, 森田耕一郎, 川辺良平, 近田義広, 神沢富雄, 岩下浩幸, 半田一幸, 高橋敏一, 小林秀行 (国立天文台野辺山), 奥村幸子, 村田泰弘, 石附澄夫 (東大理)
- B91 銀河面から放射されるX線の観測: 山内茂雄, 小山勝二, 高野史郎 (名大理), 他「ぎんが」チーム
- B92 赤色巨星の絶対光度と星周塵: 石田憲一 (東大理天文センター), M. Othman (マレーシア国立大)
- B93 銀河中心領域の CS ($J=1-0/2-1$) 輝線による広域高分解能観測 II: 坪井昌人, 半田利弘, 井上 允, 稲谷順司, 浮田信治 (国立天文台野辺山)
- B94 巨大分子雲のリング形成と銀河中心核へのガス供給: 安富 允, 立松芳典, 藤本光昭 (名大理)
- B95 ブラックホール磁気圏からの Wind: 高橋真聡, 新田伸也, 立松芳典, 冨松 彰 (名大理)
- B96 回転している球状星団の力学的進化: 秋山和英, 杉本大一郎 (東大教養)
- B97 恒星円盤の安定性——線型無衝突 Boltzmann 法の精度——: 穂積俊輔 (東芝), 藤原隆男 (京都市立芸大)
- B98 銀河の位相空間密度パラメータ: 小平桂一 (国立天文台)
- B99 最近距離銀河の形態相関: 山縣朋彦, 野口正史, 家 正則 (国立天文台)
- B100 渦巻銀河の磁場構造: 岡保利佳子, 田原博人, 加藤龍司 (宇都宮大教育)

第3日 10月13日(木) 午後1時より 会場 B

- B101 渦状腕と銀河磁場の生成 (I): 千葉柁司, 土佐 誠 (東北大理)
- B102 α - ω ダイナモ波の非線形発展 (II)——自己重力系——: 野桜俊也 (北大理)
- B103 大マゼラン雲の進化 I. ——球状星団と化学進化——隈井泰樹, 佐場野 裕, 土佐 誠 (東北大理)
- B104 原始銀河の進化 II. ダーク・ハローの効果: 佐場野 裕, 土佐 誠 (東北大理)
- B105 NGC 4593 のX線観測: 粟木久光, 小山勝二, 国枝秀世 (名大理), R. Mushotzky (NASA GSFC)
- B106 活動的銀河核 NGC 4051 の多波長同時観測: 国枝秀世, 田原 譲 (名大理), 鶴田幸子 (モンタナ州立大), M. Ward (Cambridge), D. Westpfahl (DAO), W. Wamsteker (IUE/ESA)
- B107 2D Frutti による銀河の分光観測: 西田 稔, 市川 隆 (京大理), 谷口義明 (東大理木曾)
- B108 Molecular Gas in Starburst Nuclei: 谷口義明 (東大理木曾), 亀谷 収, 中井直正 (国立天文台野辺山)
- B109 The X-ray Absorbing Matter in the Seyfert I Galaxy MCG-6-30-15: L. Piro, 山内 誠, 松岡 勝 (理化研), 他「ぎんが」チーム
- B110 渦巻銀河 NGC 4945 からのガスの噴き出し: 中井直正 (国立天文台野辺山)
- B111 渦巻き銀河 Maffei 2 の中心部にバーおよびリング状構造 (CO) の発見: 石黒正人, 川辺良平, 森田耕一郎, 奥村幸子¹, 近田義広, 春日 隆, 神沢富雄, 岩下浩幸, 半田一幸, 高橋敏一, 小林秀行, 村田泰宏¹, 石附澄夫¹, 中井直正 (国立天文台野辺山, ¹東大理)

会場 A (3階大ホール)

- A108 西太平洋大型電波干渉計建設 南鳥島調査報告: 三木千紘, 雨谷 純, 河野忠栄, 高橋富士信, 川口則幸 (通信総研)
- A109 測地衛星「あじさい」によるレーザー光反射像のシミュレーション: 山本 淳 (電通大), 高橋富士信, 国森裕生, 三木千紘, 川合栄治, 今村国康 (通信総研)
- A110 通信総合研究所レーザー測距装置: 国森裕生, 高橋富士信, 板部敏和, 有賀 規 (通信総研), 山本 淳 (電通大)

休 憩

- A111 広視野電波パトロールカメラ用 8×8, 2次元ベースバンド複素ミクサーアレイの開発: 大師堂経明, 遊馬邦之 (早大教育理工), 西掘一彦, 井上修一郎, 矢野素子, 小原啓義, 小松進一, 相沢洋二 (早大理工), 市川岸三 (サンケン), 沖田利通 (ソニー), 長根 潔
- A112 シュミットプレートの形状計測: 本田捷夫, 茹 慶新, 伊藤卓也, 辻内順平, 大山永昭 (東工大), 成相恭二 (国立天文台)
- A113 明るい分光器カメラ用非球面の製作: 中村宣夫, 安藤 学 (キャノン), 成相恭二 (国立天文台)
- A114 シャック・ハルトマン試作機の性能評価: 野口 猛, 鳥居泰男, 乗本祐慈, 沖田喜一, 川上 肇, 大島紀夫, 柴崎 肇, 中桐正夫, 山下泰正, 家 正則 (国立天文台), 辻 隆, 田中 济 (東大理)
- A115 傾斜台を用いた鏡面能動支持実験: 家 正則, 大島紀夫, 柴崎 肇, 清水康広, 鳥居泰男, 中桐正夫, 西野洋平, 西村史朗, 野口 猛, 山下泰正 (国立天文台), 田中 济, 辻 隆 (東大理), 伊藤 昇, 佐々木亜紀, 三神 泉, 宮脇啓三 (三菱電機)
- A116 鏡面能動支持機構の検証実験 (ホログラフィ法を用いた鏡面形状の測定): 宮脇啓造, 伊藤 昇, 佐々木亜紀, 田畑真毅, 三神 泉 (三菱電機), 安藤裕康, 家 正則, 辻 隆, 西野洋平, 西村史朗, 野口 猛, 宮下晁彦, 山下泰正 (国立天文台), 田中 济 (東大理)
- A117 電荷蓄積型赤外線検出器の次元アレイ化: 野田 学, 村上 浩, 浜田浩行, 秋葉 誠, 松本敏雄 (名大理)
- A118 1024×1024 CCD の低照度特性: 川上 肇, 乗本祐慈 (国立天文台), 藤井一郎 (TI Japan), J. Hyneck (TI USA)
- A119 リモートセンシング画像の解析システム: 川田剛之, 渡引克則 (金沢工大)
- A120 多層膜を使ったX線用フーリエ分光器: 北本俊二, 溝淵聖子, 山下廣順 (阪大理)

ポスターセッション

- P 1 近接連星の重力減光 VII. A, F, G 主系列分離系: 北村正利, 中村泰久 (福島大教育)
- P 2 前主系列星の近赤外水素輝線: 周藤浩士, 水谷耕平, 舞原俊憲 (京大理)
- P 3 ダークフィラメント中のガスの垂直運動 (3): 久保田 諄 (大阪経大, 花山天文台), 當村一朗 (大阪府工高専), 上杉 明 (京大理)
- P 4 孤立した磁束の非線型パーカー不安定: 柴田一成 (愛知教育大, テキサス大), 田島俊樹 (テキサス大), 松元亮治, 堀内敏朗 (京大理), 花輪知幸 (名大理), R. Rosner (シカゴ大), 内田 豊 (東大理)
- P 5 X線バーストの吸収線と吸収端: 戎崎俊一 (神戸大自然科学)
- P 6 野辺山ミリ波干渉計による銀河中心領域の NH₃ 輝線観測 (II) (Sgr-分子雲の温度構造): 奥村幸子 (東大理), 石黒正人¹, E. Fomalont², 井上 允¹ (¹国立天文台野辺山, ²NRAO)
- P 7 ミリ波干渉計による系外銀河の CO ($J=1-0$) 高分解能観測——M51, M82——: 川辺良平, 石黒正人, 奥村幸子¹, 森田耕一郎, 近田義広, 春日 隆, 神沢富雄, 岩下浩幸, 半田一幸, 高橋敏一, 小林秀行, 村田泰宏¹, 石附澄夫¹ (国立天文台野辺山, ¹東大理)

会場 B (2階大会議室)

B112 ミリ波干渉計による系外銀河 NGC 6946 中心領域の CO マッピング: 石附澄夫¹, 川辺良平, 土居 守¹, 石黒正人, 奥村幸子¹, 近田義広, 春日 隆, 森田耕一郎, 小林秀行, 神沢富雄, 岩下浩幸, 半田一幸, 高橋敏一, 村田泰宏¹ (国立天文台野辺山, ¹東大理)

休 憩

B113 Amorphous Galaxies as the End Product of Tidal Interaction: 野口正史 (国立天文台)

B114 銀河の 3.28 μm 赤外未同定バンドの観測: 水谷耕平, 周藤浩士, 片墾宏一, 舞原俊憲 (京大理)

B115 「ぎんが」による M 51 と M 31 の X 線観測: 牧島一夫, 大橋隆哉 (東大理), 井上 一, 高野史郎 (宇宙研), 小山勝二 (名大理), G. Palumbo, G. Trinchieri (ボローニャ大)

B116 Fornax 銀河団と Virgo Infall: 田辺健茲 (岡山理大教養)

B117 Coma Cluster の距離とハッブル定数: 岡村定矩 (東大理木曾), 福来正孝 (京大基研), H. Rood, B. Williams (プリンストン高等研究所)

B118 乙女座銀河団の X 線マッピング: 高野史郎, 小山勝二, 丑丸直子 (名大理), 牧島一夫, 大橋隆哉 (東大理)

B119 Cooling Flow における Thermal Instability: 服部 誠, 羽部朝男 (北大理)

B120 電波源のファラデー回転について: 田原博人, 加藤龍司 (宇都宮大教育), 井上 允 (国立天文台)

B121 プレーザーの偏波: 奥平敦也 (京大理), 田原博人, 加藤龍司 (宇都宮大教育), 井上 允 (国立天文台野辺山)

B122 BL Lacertae (2200+42) の多波長域同時観測: 河合誠之, 松岡 勝 (理化研), J. Bregman (NRAO), 他

B123 日米 VLBI 実験で得られた 3C273B の相関振幅変化: 高橋幸雄 (通信総研)

B124 OVV クェーサー 3C279 の X 線増光: 榎野文命, 紀伊恒男 (宇宙研), 大橋隆哉 (東大理), M. Turner (LEICESTER) 他, 「ぎんが」チーム

B125 「ぎんが」によるクェーサーの観測: 紀伊恒男, 榎野文命 (宇宙研), 大橋隆哉 (東大理), M. Turner (LEICESTER) 他, 「ぎんが」チーム

(2階ロビー)

P 8 晩期型棒渦巻銀河 UGC 8715 の表面測光: 太田耕司 (京大理)

P 9 非偽真空におけるバブルの性質: 澤田 強, 川端 潔 (京理科大理)

P10 微視的意味におけるチャンドラー周期: 関口直甫 (横浜国大)

P11 ロラン C 電波の陸上伝播速度の測定 III: 堀合幸次, 原 忠徳, 佐藤克久, 藤下光身, 酒井 俐, 岩館健三郎, 浅利一善 (国立天文台水沢)

P12 多点ビデオ観測による水がめ座 η 流星群の軌道: 鈴木和博 (岡崎工高), 明保俊通 (竜海中), 鈴木 悟 (六名小), 吉田孝次 (ミノルタ)

P13 IRIS-P 6 m アンテナによる VLBI 観測計画: 佐藤克久, 藤下光身, 久慈清助, 田村良明, 鶴田誠逸, 笹尾哲夫, 佐藤弘一, 原 忠徳 (国立天文台水沢)

P14 天体用固体素子測光計の試作: 東木 茂, 花岡裕明, 中島映至, 竹内 峯 (東北大理), 柴田行男 (東北大科研), 中西裕治 (英弘精機), 中村泰久 (福島大教育)

秋季年会々場案内

1. 会場は JR 金沢駅からバス（香林坊経由）で 15 分（香林坊アトリオ前下車）。タクシーで 10 分。
2. 懇親会は 10 月 12 日（水）6 時から金沢ニューグランドホテルで行います。年会々場から徒歩 5 分。
3. 交通機関（空の便）
羽田（5 便）、札幌（1 便）、仙台（1 便）、福岡（1 便）。
空港から年会々場（香林坊）まで直通バスで 45 分。

